



断端組織の保護 / プロテクション

浮腫とボリュームの変化(断端の腫れ)により、断端の皮膚は張力のかかった状態におかれます。このような断端に、圧力や剪断力が加わると、短期間で組織の破壊に至ります。また、義足装着の早期段階では、義足の着脱時に創部が危険な状態におかれます。

断端とソケットの全面接触状態は、筋のポンプ作用の代償が義足により得られ、循環を高めますので理想的な状態といえます。また、圧迫は遠位が高く、近位に移るに従い徐々に低くなるのが理想的です。これがなされないと、窒息効果により断端遠位への血液の循環が十分に獲得できません。

ICEROSSは断端組織の保護環境を提供します。ICEROSSは断端に全面接触し、20mmHGの圧迫をコンスタントに与えます。

ICEROSSは遠位に高い圧迫がかかり、近位に移るに従い圧迫が弱まるように設計されています。遠位の高い圧迫が、循環を助け浮腫の消散を速めます。

断端が元の形状に戻る事で、断端皮膚にかかる不自然な張力が取り除かれ、断端はより良く保護されます。



ロール・オン装着法は、断端組織の保護においても重要な役割を果たします。ロールオン装着により、断端軟部組織の支持性が高まり、コントロールが得られ皮膚の損傷を防ぎます。遠位では、創部を閉じる方向の力が働き創部を守ります。また、シリコンの成型特性により、肥大性癒痕組織を圧迫し、より可動性のある整った癒痕としていきます。また、ロールオンにより軟部組織は骨に対して遠位方向に移動し、骨との癒着が防止されます。

どうしてシリコンなのか？

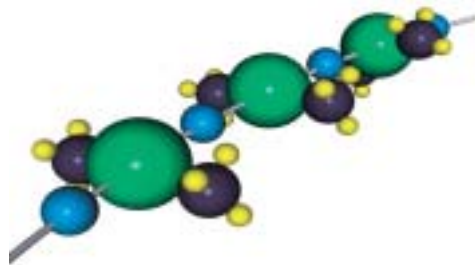
このようなICEROSSは、何故シリコン製なのでしょうか。以下の特性がインターフェースに好ましいといえます。

生物分解性がある。物性が安定、アレルギーの原因とならない。

弾力性に優れている。断端形状に沿う。確実な懸垂。

耐久性に優れ、裂けに強い。

衛生的に使用できる。表面が滑らかで、洗浄とメンテナンスが容易。



下腿用ICEROSSの選び方

個々のICEROSS製品は、オズール社が想定した条件下において、最良のパフォーマンスを発揮する工業製品です。正しく選ぶことがその出発点となります。

1)断端末から4cm近位の周径を採寸する

屈曲位をとり、断端軟部組織が垂れ下がるようにします。断端軟部組織末(骨端末ではありません)から4cm近位を

マーキングします。マーキングしたポイントで水平に周径を採寸します。

採寸で得た値をライナーのサイズとします。原則は、採寸値と同じサイズのICEROSSを第1候補として選択します。ICEROSSではサイズは約2cm刻みで用意されていますが、採寸値がサイズと一致しない場合があります。その場合は採寸値直下のICEROSSを第1候補とします。